

鶴見川出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
鶴 見 ・ 新 横 浜 出 張 所 発 行
(代 表) 鶴 見 出 張 所
電 話 045-501-3038
2014年02月17日【第11号】

シンポジウム『温暖化豪雨時代の危機と流域の暮らし』を開催しました



1月26日(日)に、鶴見川流域センターで『温暖化豪雨時代の危機と流域の暮らし』と題したシンポジウムがあり、約100名の方が参加されました。

第一部では、岸慶応大学名誉教授から「温暖化豪雨と海面上昇の時代が始まる」、横浜市温暖化対策統括本部の林担当課長から「IPCC横浜開催にむけて」、国土交通省京浜河川事務所船橋所長から「鶴見川流域における総合治水の現状」の講演があり、市民団体のドラゴンウォッチの会からは、実践活動の報告がありました。

第二部のシンポジウム中では、水マス推進サポーターの方々の洪水体験のお話もありました。

鶴見川流域センターの来館者が20万人を達成しました

鶴見川多目的遊水地を望む鶴見川流域センターは、平成15年9月の開館以来、学習と流域活動の交流拠点としても利用されてきました。利用者は鶴見川流域の学校や団体を中心に年々増加しており、平成26年2月3日に横浜市立北綱島小学校(右の写真)のみなさんを迎え20万人の来館者を達成しました。

セレモニーでは、『流域センター長(代理:副センター長)から認定証の授与』と『流域センター一応援団から記念品の贈呈』がありました。



『つるみ川新春富士見ウォーク』で鶴見川全川を歩く



11日の参加者



18日の参加者

平成26年1月11日(土)と18日(土)に鶴見川流域で行われた『つるみ川新春富士見ウォーク』は、両日も天候に恵まれ流域から集まった人達で、大いに賑わいました。

11日に源流から出発し中流域の鴨居まで、18日は、鴨居から鶴見川河口付近の生麦まで延べ約44kmを歩きました。

主要な地点で市民団体、関係自治体、京浜河川事務所から鶴見川の歴史、治水、環境等について説明が行われました。

参加者は、主催者発表で両日合わせて、215名となりました。

鶴見川のゴミマップ(H25. 4~9)をホームページで公表しています

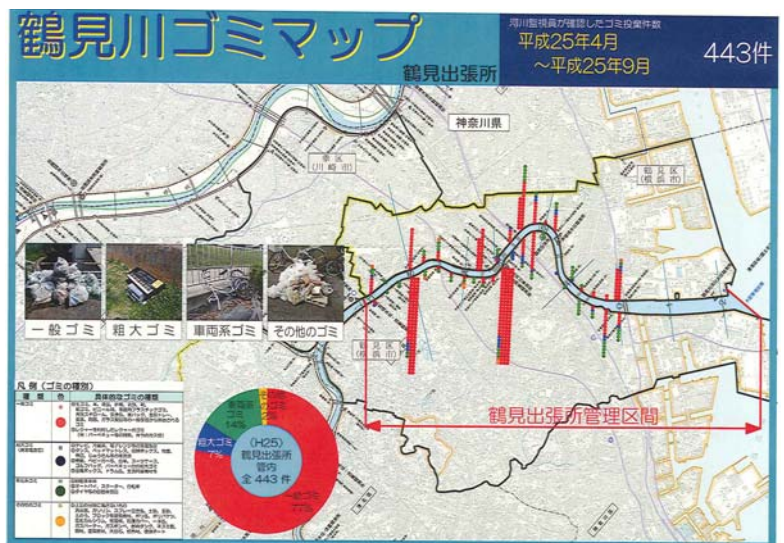
京浜河川事務所では、河川に不法投棄されたゴミを収集・処分しています。このゴミの収集・処分にはお金がかかっており、その費用はみなさんの税金から支払われています。

河川へのゴミの投棄がなければ、必要のないお金です。

河川のゴミ投棄の実態をみなさんに知って頂くために、河川巡視で確認したゴミが捨てられていた場所を地図にしました。

みんなが気持ちよく河川を利用できるように、ゴミを持ち帰るようにしましょう。今回は、平成25年4月から9月までに確認した半年分のゴミを掲載しました。

(右図が『鶴見川ゴミマップ』)



矢上川の堤防上の舗装工事は1部の区間で終わっています



矢上川橋から八兵衛橋まで
(川崎市幸区側)

矢上川橋から八兵衛橋まで
(横浜市港北区側)



川崎市幸区南加瀬4丁目に設けられている『加瀬水处理センター』は、昭和48年11月から運転が開始されています。

今回の工事は、矢上川の出口に設けられている水門の一部と両脇の護岸を改修する工事です。

もう一つは、矢上川の堤防上道路を舗装する工事です。この新聞の第8号(11月)でも紹介しましたが、矢上川橋から八兵衛橋までの両岸約800mを舗装します。

昨年12月末に矢上川橋と一本橋の港北区側の舗装が終わり、開放されています。

1月下旬には、一本橋と八兵衛橋の川崎側の舗装が終わり、開放されています。

あとがき

鶴見川に架かっている『鶴見橋(国道15号線)』(管理者:国土交通省横浜国道事務所)で塗装工事が行われ、橋桁に橋梁名を記載して頂きました。今後、鶴見川下流部の堤防上にコンクリートで造られている波返し部分に海拔表示も行っていく予定です。皆さんに災害時でも場所や高さ(海拔)が確認できるようにしていきたいと思っています。

また、鶴見川で行われている河川工事については、京浜河川事務所のホームページをご覧ください。



『鶴見川 出張所だより』編集長(上林喜美夫)

鶴見川流域センターは鶴見川の情報発信しています

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』は、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設です。

この流域センターは、先日来館者20万人を迎えました。平成15年9月にオープンし、7年目の平成22年に10万人を迎え、その後来館者が増え平成24年3月に15万人、平成26年2月には、20万人になりました。流域センターでは、毎月テーマを変えて、展示やイベントを行っていますので、リピーターも多くなっているようです。

是非、来館して鶴見川のことを学びに来て下さい。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

(鶴見川流域センター直通)